

学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897)65-1301

学校司書による授業研究会を実施しました | 12月4日 角野小学校にて



学校司書の指導力向上を目指して、角野小学校にご協力をいただき、授業研究会を行いました。

3年生国語科『冬の暮らし』の学習で、「冬を感じるものの詩を書こう」という学習課題での授業でした。

学級担任が主体となり、冬の暮らしに関する本の紹介、五行詩の書き方の支援を学校司書が行いました。学級担任と学校司書の連携がとれた授業で、始めは五行詩作りに戸惑っていた児童が、終わりには3枚も書き上げ、発表して拍手をもらい嬉しそうでした。



冬に関する本の紹介—学校司書として力を発揮する場面です。「ストーブのふゆやすみ」「おかしなゆき ふしぎなおおり」「みかんのむきかた」「クリスマスのおかいもの」…児童は真剣に聞いています。



学校司書が五行詩の書き方を説明します。ワークシートを配付し、何をしているのか、どのようにしているのか、それを詳しく書く、思いついたこと、さらに思いついてことを書く、例を挙げながら話します。

できた五行詩を、グループの中で読み合います。友達の詩を楽しく読み、それぞれの冬を感じ合っていました。



冬を感じる言葉を発表していきます。こたつ、ふとん、なべ、湯豆腐、温泉、焼き芋、みかん、りんご、雪、ストーブ、クリスマス、サンタクロース…たくさんの言葉が出てきます。



五行詩作りを始めました。しかし、なかなかスムーズに鉛筆が動いていない子もいます。そこで担任の先生が、できた児童の発表と、自分が書いた五行詩を発表し、児童に作り方のアドバイスをします。書き方が分かった児童は、2枚目3枚目と仕上げていました。



最後に、全体で発表します。たくさんの児童が手を挙げ、自分が作った五行詩を発表しました。発表した児童は、たくさんの拍手にとっても嬉しそうでした。

学校司書による研究協議



- ・学級担任との役割分担が適切であった。
- ・いろいろな種類の本を紹介できていた。
- ・本の紹介につながりがあり分かりやすかった。
- ・五行詩の実例があり分かりやすかった。
- ・声の大きさ、調子がゆっくりではきはきしていた。
- ・児童への問いかけ「○○を想像してください」
- ・五行詩の実例があり分かりやすかった。
- ・五行というのが、児童には書きやすかった。



学校司書の取組としてよかった点と改善点を付箋にまとめ、授業協議を行いました。

図書館を有効に活用した、子どもたちの主体的な学びを支える情報活用能力の育成を目指していきます。

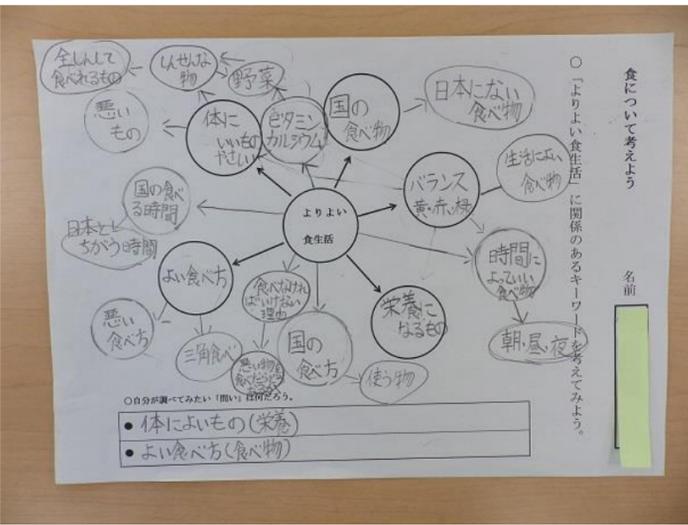


- ・本の紹介のめあてを最初に明確にしたい。
- ・「旬」「師走」の意味について確認が必要。
- ・図書を利用した図書館のありがた感がほしい。
- ・児童に冬の本を探させるなどしてもよかった。
- ・詩の面白さを知らせたい。五感をはたらかせて。
- ・図書を有効に活用し、児童の語彙を増やしたい。
- ・本の題名をしっかりと伝え、内容を少し読む。
- ・クイズを入れる、実物を見せる等の工夫を。

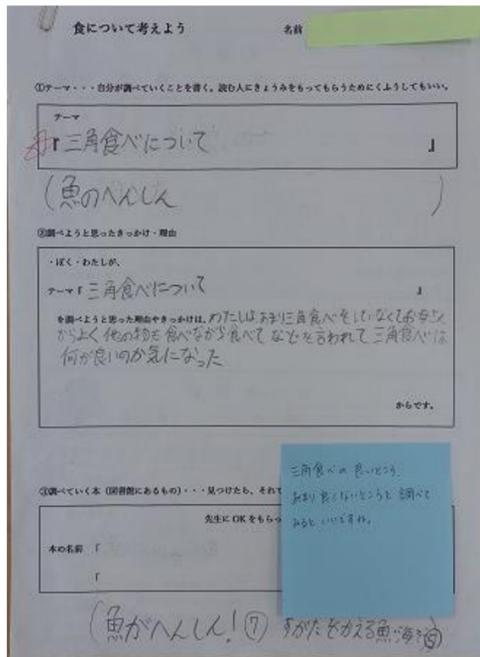
図書館の授業では、担任の先生方との打合せの時間確保が大きな課題です。見通しをもって計画的に学習支援ができるよう、学校司書から先生方にお声かけするよう努めていきます。ご理解・ご協力をお願いします。

学校図書館で児童が作成した作品を紹介します

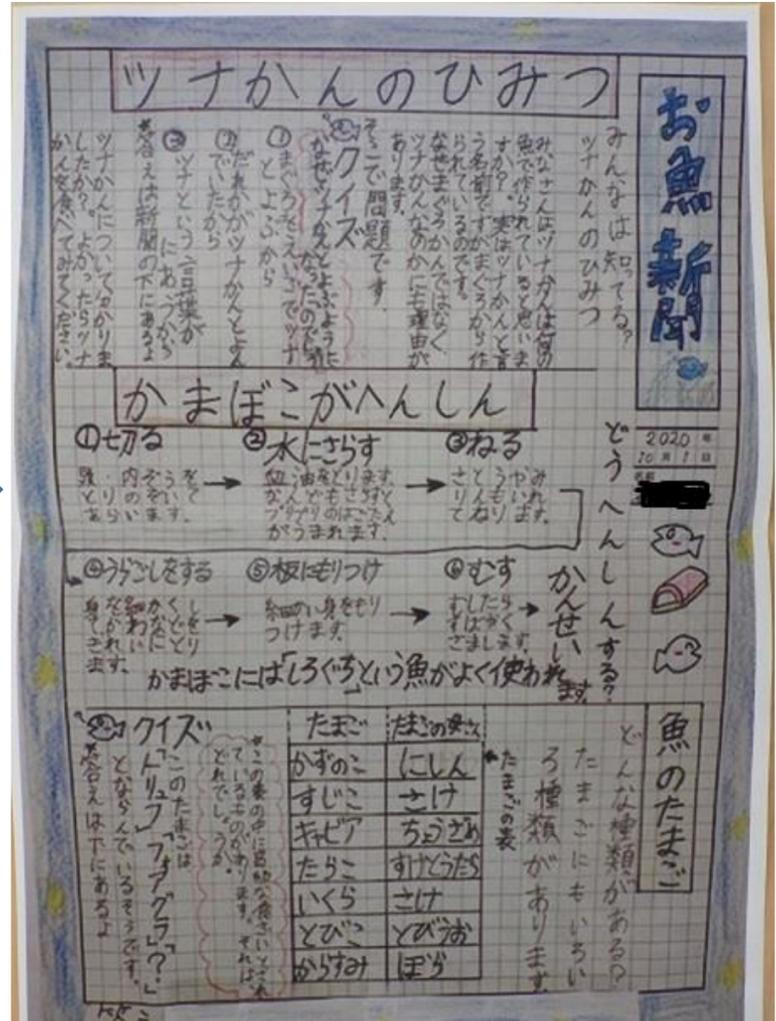
4年生 国語「新聞を作ろう」



【学び方ノート3・4年生用】テーマを決めよう

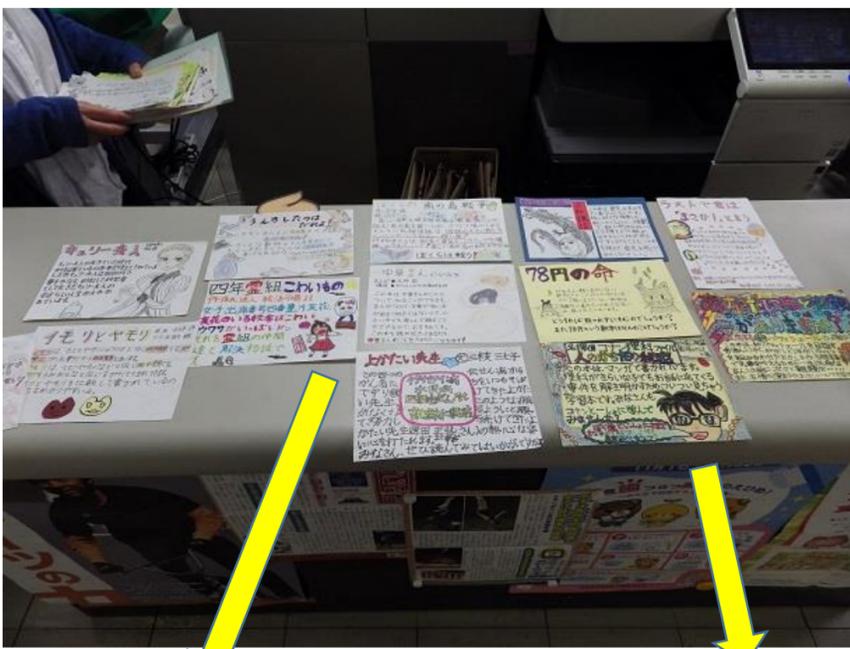


テーマを決め、ワークシートにまとめる



「お魚新聞」完成

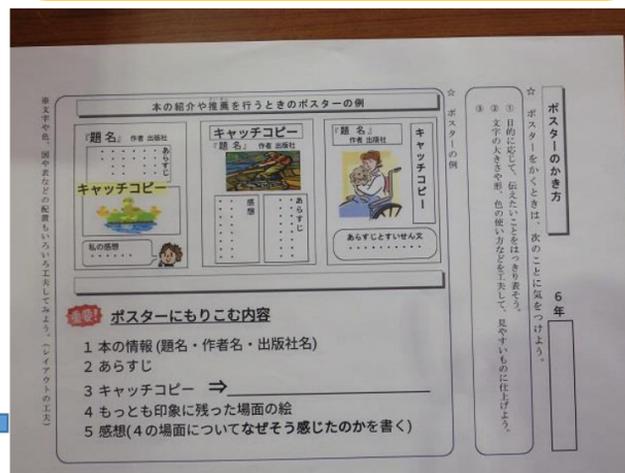
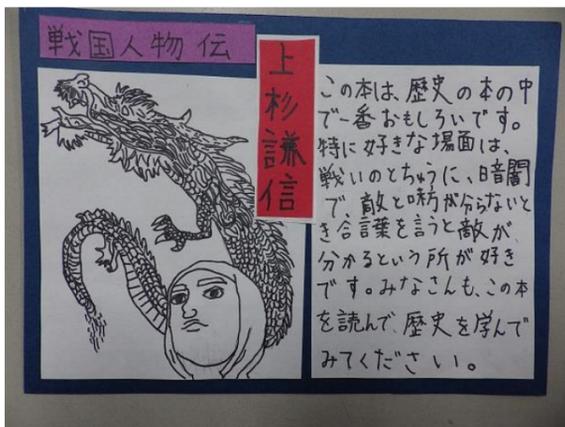
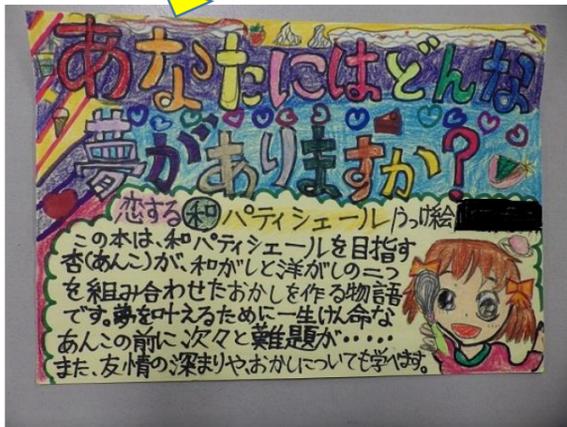
クラブ「POPコンテストに応募しよう」



2年生 国語「かたかなで書くことば」

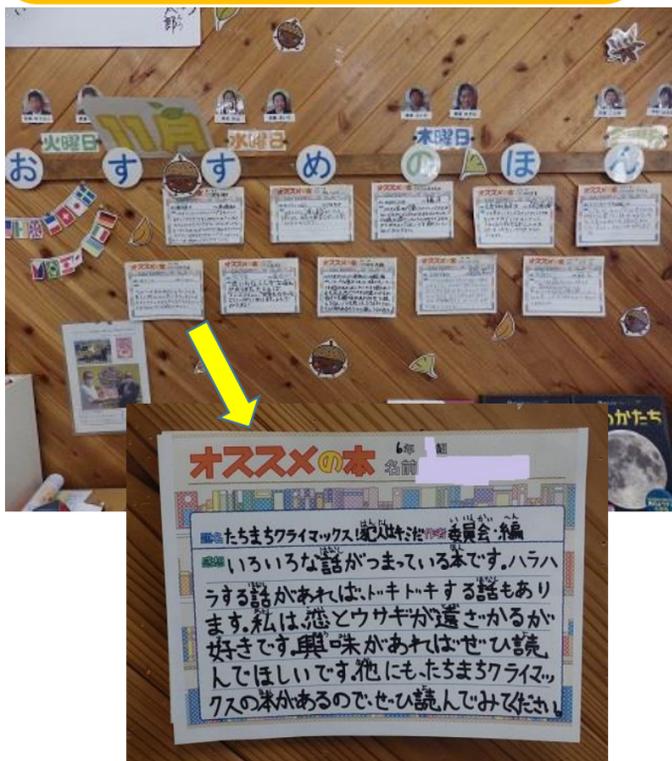


6年生 国語「本を紹介しよう」



図書委員会より「おすすめの本」

「ポップアップカード」



表

裏

